

メール: g03063@shugiin.go.jp

自立と共生!

たくましい日本!

No. 178号

## 民主党 中川正春の 永田町かわら版

2002年12月2日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

## ○ 突然の不出馬宣言

## 北川知事にまた、やられました

先週の月曜日、地元の支援者の皆さんと楽しく談笑しているところに、「北川知事が三期目の知事選挙に出馬しないと、県議会で発表した。」と、県の関係者から連絡が入りました。続いて、私の携帯に知事本人から電話が入り、「聞いていただいたとおりの決断をしたので、許して欲しい。」と言います。「他意はなく、以前から知事職は長期に務めるものではなく、2期までがふさわしいと思っていたので、その通りにやめる。」このような話でした。

最初は、無責任だと、私も怒りました。北川さんには、またやられたと思いました。しかし、北川流は、今に始まった事ではないかと、あきらめざるを得ない。「してやったり」と、にんまり笑っている彼の顔が浮かべられます。

29日の金曜日、東京から戻って、夜遅くに知事と会いました。再出馬をしないこと理由については、「自分が、実際に二期八年で辞任と言うアクションを起こす事によって、地方自治体の首長というとても強い権力の座に必要以上に長く居座っている人たちに、世論のプレッシャーがかかり、日本中に正しいながれができれば、それはいい事だ。」と、改めてのはなしです。

北川さんの今後の身の振り方については、様々に話が出ています。真実は、しばらくフリーハンドで、中央の政局を見定め、その後、新しい時代の流れに乗ってアクションを起こそうというところなのかと、私は推察しています。私と交代で、三重県2区から衆議院に立候補するという「ウワサ」は、きっぱりと否定してくれました。

後の三重県を、さらに元気なものにしていかなければなりません。北川さんより立派に県政をリードする知事候補を、北川さんの鼻を明かす意味でも発掘しなければならぬと思っています。

地元で一生懸命に候補者探しをして頑張ってくれる、金森県議はじめ、県議会の新政みえのメンバー

## ○ 鳩山代表辞任

## 本当にすみません。皆さん。

民主党がとんでもない事になっています。鳩山さんを党首選挙で押した一人として、私も痛切に責任を感じています。

基本的には、候補者個人の名前よりも民主党という枠組みで当選してきた議員が危機感を持っていることにあります。党の支持率が下がれば、自分は次回当選する確率はなしと、思いつめている議員が民主党には多いのです。鳩山さんのパフォーマンスと人事などの政治センスもよくないところがありました。若い議員の危機感を「全て鳩山が悪い」とスケープゴートにされてしまった感があります。ここまで彼を追い詰めるのは、よくありません。

私は、機会があるごとに、「選挙区へ戻れ。国民ともう一度対峙してその声を汲み取る謙虚さを持って、この党を立て直そう。決して、人の所為にするんじゃない。民主党に何をしてもらおうと考えるのではなくて、国民が民主党に期待することをしっかりと汲み取り、自分達一人一人が、民主党に、そして、国家に対して何ができるのか、腹が据わったときに、この党は、必ず再生する。」と、うったえています。

岡田克也さんが、党首か又は幹事長を引き受けるべきだと、今度は、真剣に言っています。将来も見据えて、大事に育てるなら、幹事長。しかし、菅さんが代表として党内の総意を得られないようであれば[その可能性大]、岡田さんが代表として腹をくくらなければならないこととなります。大変苦勞をする仕事になりますが、私も全力で助けるつもりです。

今回のドタバタの付録。三重県5区の山村議員が、民主党を離党すると宣言してしまいました。会議が終わった後、彼を捕まえてじっくり話をしましたが、本人に様々な思い違いがあったように思われ

に大いに期待しています。

ます。私の説得に従ってくれずに、本当に離党届を出してしまえば、私達は、新しい候補者を5区に擁立する事を考えなければなりません。

私にとって、今年はとんでもない年越しになりそうです。

**中川正春**